

テロン™

土壤くん蒸剤

- 高純度の有効成分が土壤中でガス化し、土壤の隅々まで拡散
- ネコブ・ネグサレ・シストセンチュウに優れた殺線虫効果を発揮
- 60種以上の幅広い作物に適用
- コガネムシ幼虫も防除可能
- ばれいしょのそうか病・青枯病も防ぐ



本気の線虫対策なら
テロン!



サンケイ化学株式会社

■適用病害虫と使用方法

■農林水産省登録: 第22032号

■性状: 淡黄色澄明液体

■有効成分: 1,3-ジクロロプロパン…97.0%

■人畜毒性: 医療用外劇物

■有効年限: 3年

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法	本剤及び D-Oを含む 農薬の 総使用回数
レタス、非結球レタス、非結球あぶらな科葉菜類、セリ科葉菜類、きゅうり、すいか、いちご、トマト、ミニトマト、メロン、かぼちゃ、なす、ピーマン、とうがらし類、まくわうり、だいこん、はつかいのこん、にんじん、かぶ、ごぼう、てんさい、こんにゃく、さといも、らっかせい、しようが、やまといも、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、しそ、しそ(花穂)、バジル、うど、薬用にんじん、食用にんじん、オクラ、にがうり、もりあざみ、らっきょう、みしまさいこ、さやいんげん、にら、つるむらさき、花き類・観葉植物(きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20ℓ/10a (1穴当り1.5~2mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	※1 耕起整地後、縦横30cm間隔の碁盤の目で切り干鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
プロッコリー、カリフラワー	テンサイシストセンチュウ	20ℓ/10a (1穴当り2mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1	※2 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
はくさい、ほうれんそう、キャベツ	テンサイシストセンチュウ	15~20ℓ/10a (1穴当り1.5~2mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	※3 耕起整地後、縦横30cm間隔の碁盤の目で切り干鳥状に深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
ねぎ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20ℓ/10a (1穴当り1.5~2mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	※4 耕起整地後、30cm×30cm間隔で地表面から深さ15cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫	15~20ℓ/10a (1穴当り1.5~2mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	※5 植付前、畦立・畦面被覆後に、植付予定位置の深さ15~20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。但し、ガス抜きは行わないこと。
だいす、えだまめ	ダイズシストセンチュウ	20ℓ/10a (1穴当り2mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげんを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20ℓ/10a (1穴当り1.5~2mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	
ぱれいしょ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	30~40ℓ/10a (1穴当り3~4mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※3	
ジャガイモ	ジャガイモシストセンチュウ	40ℓ/10a (1穴当り4mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1	
かんしょ	青枯病 そうか病	15~30ℓ/10a (1穴当り1.5~3mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	
茶	ネコブセンチュウ	15~20ℓ/10a (1穴当り1.5~2mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1	
きく	ネグサレセンチュウ	15~40ℓ/10a (1穴当り1.5~4mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	
たばこ	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20ℓ/10a (1穴当り1.5~2mℓ)	10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	
樹木類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20ℓ/10a (1穴当り2mℓ)	作付の30日前まで	全面処理 ※4	
す ぎ (は種床) す ぎ (床替床) ひのき (は種床) ひのき (床替床)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	4~6ℓ/10a (1穴当り1.3~2mℓ)	作付の30~45日前まで	全面処理 ※5	
	イシュクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20ℓ/10a (1穴当り1.5~2mℓ)	植付の10~15日前まで	全面処理 ※1 作条処理 ※2	
			作付の10~15日前まで		

■上手な使い方

- ① 畑の掃除・耕起・整地 → ② テロン注入 → ③ 鎮圧 → ④ ガス抜き → ⑤ 定植

- 耕起・整地はていねいに行ってください。 ●土壤水分は、土を軽く握ってひらくとこわれずに軽くひび割れができる程度が適正です。 ●たばこの畦内処理では、ガス抜きは行わないでください。

■くん蒸期間とガス抜き期間

- 処理は原則として作付の10~15日前に行い、作付3~4日前に烟を耕起して十分にガス抜きをしてください。

- くん蒸期間、ガス抜き期間と効果、薬害の関係は、土壤の種類、腐植土の多少、温度、土壤水分、作物によって異なります。はじめて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

●注入

★ は種または定植

処理時期(地温)	処理時期とくん蒸期間・ガス抜き期間の目安		
12~2月(5~10°C)	15~20日	ガス抜き 15日前後	20日
3~4月(10~20°C)	10~15日	7~10日	20日
5~6月(20~25°C)	7~10日	7~10日	20日
7~9月(25~35°C)	7日	5日	20日
10~11月(10~25°C)	10~15日	15日前後	20日

- 処理後に大雨があつたり、土壤が重粘土質で通気の悪い所では、ガス抜きを特に念入りに行ってください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使い終わった缶は、逆さまにして周囲に影響のない場所に奥いが抜けるまで立てておいてください。その後、危険のない場所で処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

●温度の低い時、薬量を多くした時は、注入から作付までの期間を少なくとも1週間くらい長くしてください。

●ぱれいしょのそうか病に対しては、地温が低いと効果が不十分な場合があるので注意してください。

●適用作物群に属する作物又は、その新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

■貯蔵上の注意事項

●火気をさけ、直射日光があたらない鍵のかかる低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

■安全に使用するため

- 正しい服装と保護具を着用し作業してください。
- ガス抜き作業の際にも、正しい服装と保護具を着用してください。
- 作業およびくん蒸中に、人や家畜・家禽を圃場に立ち入らせないように注意してください。
- 作業後は、手足、顔を洗い、うがいをして、衣服を交換してください。
- 眼に入った場合は、多量の水でよく洗い、速やかに眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 薬液が衣服に付いた場合には、ただちに着替え、他のものと分けてよく洗濯してください。

農薬の中毒に関する緊急問い合わせ先

公益財団法人 日本中毒情報センター

・大阪中毒110番 072(727)2499(24時間)・つくば中毒110番 029(852)9999(9~21時)

取扱

本資料は2023年7月現在の知見に基づき、作成されています。